

6 月度木曜例会 (June 5, 2014)

今日は、おなじみの Mathew Allen Sawyer-Long さん (USA) をお迎えしました。今日で 5 回目の講義になりますが、毎回ジェスチャーを交えながら、パワフルなスピーチで私達を興味ある話題へと、ぐんぐん引き込んでくれます。

最近、Mathew さんは、”Don’t forget your own country.”と言われたり、自分自身、電話で話す時も日本人のようになってきたと感じておられるとか。でも、アメリカとは？アメリカ人とは？いったい何でしょう：What is America?

今のアメリカの image は、まだ新しいもの。現在生きている人々の中にある、living memory です。1930 年代以降のアメリカについては、両親や祖父母の世代から話を聞けますが、それ以前はどうだったのでしょうか？今日のタイトルは、**It was the best of times, it was the worst of times. – The making of Modern America and the progressive era.** もはや living memory ではない、1890 年から 1920 年の progressive era についてお話がありました。



1890's - 1920's: progressive era

progressive は change の意味。歴史の比較的浅いアメリカにとっては、change も簡単なものでは？この時代には多くの問題があったが、change for the better の時代 — 日本では明治政府、タイタニック沈没、第一次世界大戦、禁酒法、パナマ運河建設 — アメリカが初めて世界に進出し、world power になろうとしていた時代です。

当時の問題としては；

- Child labor; most children didn't go to school.

子供は、多くの家庭で労働力と見なされ、家庭だけでなく、factory や危険な coal mine 等でも働いていた。(写真右)

→1920 年には 90%、1930 年には、ほぼ 100% の子供が学校に行けるようになった。

- Unsafe, extremely long work conditions, no unions, exploitation

labor union は 1940 年代まで力がなかった。

- Corrupt government and justice

弁護士や裁判官にまで賄賂が・・・

- Business monopolies and terrible distribution between rich and poor

貧富の格差大。business law の変更で millionaire も増えた。

それまで独占されていた electricity, railroad 等の事業独占は禁止された。

- Unsafe food and drugs (no regulation)

食品や医薬品に関する規制がなく、肉や魚のみならず、医者から処方される薬にも安全でな



いものがあった。

→1906年にFDAが設立され、初めて食品や医薬品の安全確保に乗り出した。

• Low level of average education

義務教育止まりの子供が多かったが、高等学校、大学への進学率も徐々に増えていった。

• Gender inequality

1919年まで女性には参政権なし。女性の自由は、西部から東部へと徐々に広がっていった。

• No reliable media

• Exploitation of nature - 当時はお金さえ出せば、土地を買うことができた。

→ National park の設立



one family で one room、貧困層のアパート。部屋にはトイレ、台所、電気、水道、全てなし！ Tenement とよばれます。

女性の投票権を求める運動は、西から東へ。ちなみにこのリーダーは Lady Liberty.

Wilson 大統領の時代、禁酒法が制定され、アルコールは違法となった。だが、アルコールの製造、売買は禁止されたものの、自家園でのぶどう栽培、ワイン製造、その飲酒は許可された。

通信販売を始めた Sears Roebuck は、当時、何でもカタログ販売していた・・・車、住宅、銃も買えた！

女性のファッションも変わっていった。1890年頃の wealthy women のイメージと言えば、long skirt, fur, big hat, big bag (great grandmother のイメージ)。働く女性も、フレアーの long skirt だったが、1920年には、square mannish line (like a man)となった。1960年代以降は、男女共シンプルな T シャツとジーンズになっている。



“Teddy” Roosevelt 第26代大統領（写真左）

彼は、スーツ、ネクタイ、ベストの3点セットを着こなし、mustache（当時の banker、policeman のイメージ）をはやす。鉄道等、独禁法を制定したり、navy を利用。当時のアメリカは world power ではなかったが、イギリスのようになるべき！との考えから、パナマ運河建設に寄与。運河は、ちょうど軍艦が通る幅なので・・・（これは、フィリピンやキューバにとっては、悲劇でした）。news media を味方につけ、必要な時に”stick”を振るう、アメリカの super symbol となった。

アメリカは、大体 30 年間隔で大きな変化がある。1970 年前後にも大きな波があり、次はそろそろ始まるのでは・・・と思っている。

以下、Q&A です。

- 当時のアメリカはどの様に経済力を付けたのですか？多くの国は国外から富を得ましたが？輸出です。鉄鋼、繊維、たばこ、テクノロジー、武器などです。武器は明治政府に大分買ってもらいました。参考までに **Downton Abbey** というテレビドラマご覧になってみては如何？



- 今は、**best time** それとも **worst time**? 人々は、昔は **good old days** だったと言うが、そうは思わない。**perfect dream era** も、まだだと思う。

現在は、今までとは違う問題が起こっている。**health (quality of life)** が大きな課題。また、人々は **legal system** に頼りすぎており、訴訟社会になっている。**personal responsibility** を持つべきだと思う。

- **N.P**に行った時何百マイルもサービスステーションが見つからず水も買えませんでした。これって誰か訴訟しないのですか？ **On your own risk.** ですね。でも何故こんな訴訟社会になってしまったのか、**citizenship education**に尽きるのではと思います。
- ルーズベルト大統領が初めて新聞を利用したようですが、テレビを利用したのは誰？ケネディ大統領が **TV** で初めて演説したと思う。現在、大統領の **TV** 討論の視聴率は **80%~90%**と言われている。インターネットも普及しており、その為、雑誌類は **50%**も値上がりしている。
- 銃は、アメリカで何故コントロールできない？ 銃の所持率は、州や住む地域によって大きく変わる。大都市では殆ど持っていない。私の家族も誰も持っていない。だが、非都市部では違う。みんな持っている。狩猟やスポーツ、動物から身を守るためである。また、**safety rule** が州によって違い (ex: **California** は厳しいが、**Texas** は緩く、ライセンスなしでも銃が買える)、質の悪い **junk gun** なら **60** ドルで買える州もある。
銃は危険だと思う。銃弾 1 個 **1,000** ドルにすれば、あまり撃たなくなるのでは？
- **Teddy Bear** は、ルーズベルト大統領の名前に由来？ **Yes.** ルーズベルト大統領は、熊を見ても撃たなかったため (本当?)、この名前がつけられたとか。
- 30 年毎に波があるということですが、1920 年以降は？ 1890 年~1920 年が大きな **first wave**
 - その後、1930 年代の世界恐慌、第二次大戦を経て、1950 年~1980 年が **second wave**
 - 1980 年代は、多くの病院が閉鎖され、**social service** が低下した時期。
 - 現在は、次の波を待っている状態。中国経済の台頭と共に起こるのでは・・・

因みに、当時の **fashion** では、ボタンが主流だったが、**zipper** は、いつ発明されたのか？これは **homework** とのことでしたが、調べたら、1891 年に考案され、当初はかみ合わせが悪かったが、その後改良され、1921 年に『ジッパー』の商標名で発売されたとのこと。

今回も、内容の濃い講義をどうもありがとうございました。分かりやすい英語で、豊富な知識を披露してくださる **Mathew** さん、是非またお話を聞かせてください。楽しみにしています。